

## 重要ポイント (カテコラミン)

		ドパミン		
		少量	中量	大量
間接作用: 刺激する受容体		—	ハレアドレナリン遊離: $\alpha_1, \alpha_2, \beta_1$	
直接作用: 刺激する受容体		$D_1, D_2$	$+\beta_1$	$+\alpha_1$
作用部位	心臓(心房筋, 心筋)	—	心機能亢進(心拍数増加, 心収縮力増大): $\beta_1$	
作用(効果)	血管平滑筋	弛緩: $D_1$ (血圧下降)	収縮 $\alpha_1$ = 弛緩: $D_1$ (血圧変化なし)	収縮: $\alpha_1$ > 弛緩: $D_1$ (血圧上昇)
適応		ショック等の心肺蘇生		

## 重要ポイント (間接型アドレナリン作動薬)

	アンフェタミン		メタンフェタミン
阻害する構造体	小胞モノアミン トランスポーター (VMAT)	モノアミン トランスポーター (MAT)	モノアミン オキシダーゼ (MAO)
作用部位	中枢神経		
作用 (効果)	シナプス間のカテコラミン濃度上昇 (中枢興奮)		
その他	覚せい剤		

「覚せい剤」は、中枢神経系に作用し、血圧、心拍数、呼吸数を増加させる。また、食欲を抑制し、睡眠を妨げる。長期使用すると、依存性、中毒、精神障害、心臓病、脳血管障害、免疫機能低下、がんリスク増加などの副作用がある。